

ブダペスト・ウィーン・プラハの三都市とチェスキークルムロフ 中欧三都周遊7日間



日付	都市	時間	日程	宿泊地	食事
4/25 (木)	ブダペスト	午前 午後	成田または関西空港集合 搭乗・出国手続後 空路ハンガリーの首都ブダペストへ (ヨーロッパ内の1都市を經由)	【ブダペスト 泊】	機 機 機
		夕刻	ブダペスト・フェリヘギ国際空港到着 入国手続後、専用車で市内ホテルへ		
4/26 (金)	ブダペスト	朝 午前	ホテルにて朝食 専用車でブダペスト市内観光にご案内 (漁夫の砦、マーチャーシュ教会、鎖橋等)	【ブダペスト 泊】	朝 昼 ×
		昼 午後	観光後、市内レストランにて昼食 食後、ホテルに戻り自由行動 ◎患者様は市内病院にて人工透析		
4/27 (土)	ウィーン	朝 午前	ホテルにて朝食 食後、専用車でブダペスト東駅へ 国際列車でオーストリアの首都ウィーンへ出発	【ウィーン 泊】	朝 昼 夕
		昼 午後 夕刻 夜	ウィーン西駅到着後、市内レストランにて昼食 食後、専用車でウィーン市内観光にご案内 (シェンブルン宮殿、王宮) 観光後、ホテルにチェックイン レストランにて夕食		
4/28 (日)	チェスキー クルムロフ	朝 午前 昼 午後	ホテルにて朝食 専用車でチェスキー・クルムロフへ出発 到着後、レストランにて昼食 食後、世界遺産に指定された美しい街並みを散策 観光後、専用車でチェコの首都プラハへ	【プラハ 泊】	朝 昼 夕
		夕刻 夜	プラハ着後、ホテルにチェックイン レストランにて夕食		
4/29 (月)	プラハ	朝 午前	ホテルにて朝食 専用車でプラハ市内観光へご案内 (プラハ城、黄金の小道、カレル橋)	【プラハ 泊】	朝 昼 ×
		昼 午後	観光後、レストランにて昼食 食後、ホテルに戻り自由行動 ◎患者様は市内病院にて人工透析		
4/30 (火)		朝 午前	ホテルにて朝食 専用車でプラハ・ルズニエ国際空港へ 空港にて搭乗・出国手続 空路帰国の途へ(ヨーロッパ内の1都市を經由)	【機中 泊】	朝 機 機
		午後			
5/1 (水)		午前	成田または関西空港到着 入国手続後、解散		機

旅行期間

4月25日(木)～5月1日(水)

旅行代金

出発地：東京・大阪

お一人様 **498,000円**

(2名1室ご利用の場合)

- ◎燃油サーチャージ、空港税について：燃油特別付加料金(燃油サーチャージ)、並びに海外の空港使用税及び国内空港の空港施設使用料、航空保険料は旅行代金に含まれます。今後、燃油サーチャージに増減があった場合でも、旅行代金に変更はございません。
- 成田または関西空港にて集合後、国際線に搭乗いたします。前泊が必要になる場合がございます。
- ◎添乗員は、成田または関西より同行いたします。

●利用予定航空会社：フィンエアーまたは
ルフトハンザ・ドイツ航空

●利用予定ホテル：

ブダペスト インターコンチネンタル クラス
ウィーン ルネッサンス・ウィーン クラス
プラハ アンパサダー・ズラター・フサ クラス

●食事条件：朝5回・昼4回・夕2回

●一人部屋追加代金：88,000円

●現地透析：2回(ブダペスト、プラハ)

●透析費用：1回 約50,000円

●最少催行人員：6名

●査証：ハンガリー、オーストリア、チェコ入国には査証は必要ありませんが、入国時にパスポートの残存有効期間が6ヶ月以上あることが必要です。

●渡航情報(危険情報)：ハンガリー、オーストリア、チェコには現在危険情報は発出されていません。詳しくは外務省の渡航情報ホームページをご覧ください。
(<http://www.anzen.mofa.go.jp>)

旅の見どころ

●**ブダペスト**：“ドナウの真珠”と称される美しい町がハンガリーの首都ブダペストです。ブダ地区とベスト地区を分けて流れるドナウ川と、そこにかかる橋の姿が、どこか哀愁をたたえたこの町の美しさをより引き立てています。

●**ウィーン**：有名なシェンブルン宮殿は、1683年皇帝レオパルト1世がヴェルサイユ宮殿を凌ぐ宮殿を建てるようにと命じ、マリア・テレジアの時代に現在のような豪華絢爛たるロココ調の宮殿に改装され、夏の宮殿として使われました。(1994年に世界文化遺産に登録)

●**チェスキー・クルムロフ**：プラハから南へ180km、南ボヘミアにあるブルタヴァ川に囲まれた美しい町です。14世紀に建てられた城と、その城下町には、歴史的な建物がそのまま残り、中世にタイムスリップしたような気分させてくれます。(1992年に世界文化遺産に登録)

●**プラハ**：“百塔の町”と呼ばれるチェコ共和国の首都プラハ。街に残る建物のほとんどは17、18世紀のものです。丘の上のプラハ城を中心としたこの街の歴史は1000年以上にもなります。(1992年に世界文化遺産に登録)